事例No.	1936
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	新潟県胎内市

事例区分	公営企業

タグ	・観光施設事業 ・公共施設活用 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	民営化等

事例内容・タイトル

地ビール園の民営化

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【新潟県胎内市】
地ビール園の民営化

民営化等 **観光施設事業**

新潟県胎内市農林水産課

● 取組の概要

地ビール園を民営化した。

◆総事業費　152,992千円の内数

◆背景

- 胎内高原ビール園は、本格的な地ビール醸造にこだわりドイツからマイスターを招聘し農業と観光を連携させた直営の施設として整備されたが、平成16年以降の景気の低迷等により、料金収入が減少し、経営状況が悪化していた。
- 経営状況の改善に向け、イベント等を実施するも収支の改善には至らなかったため、一部の部門を休止するとともに、事業のあり方を検討することとした。

◆具体的内容

- 民間事業者へ施設を無償で貸し付け、民間事業者が地ビール園を運営することとした。

◆効果

- 運営経費、設備更新費等の市の財政負担を削減することができた（152,992千円/年）。
- 施設の継続によって、観光客の誘致、地元雇用、特産品の確保等について寄与することができた。
- 民間事業者が施設を増強したことによって、ビールの製造技術が向上した。

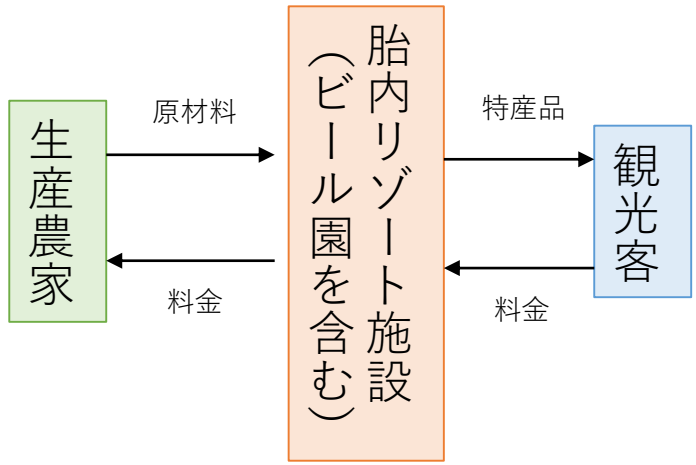
● 取組のポイント

・様々な観点から、施設のあり方について検討を行うため、検討委員会を設置して、経営状況を分析し、民間活力の活用の可能性等について協議を行った。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　28,043 人（令和 4 年1月1日時点）
- 行政区域内面積　264.89 km²（令和4年1月1日時点）
- 料金収入　18,988千円（平成24年度決算）

農業と観光の連携



● 取組のスケジュール

- 平成20年及び21年に、検討委員会を設置し、協議された取組を実施する。
- 平成25年4月1日に民間事業者による運営を開始した。

● 今後の展望

- 民間事業者の運営状況を注視するとともに、施設の維持管理費用の削減方法を協議する。